



共 育

続ける習慣を大切に

1学期も早、2ヶ月が過ぎようとしています。1学期の振り返しになります。子どもたちは、元気に学校生活を送っています。授業では、新たに1人1台のPCを活用しながら、意欲的に取り組んでいる姿がよく見られます。休み時間では、運動場でサッカーをしたり、体育館でドッジボールをしたり、遊具広場で遊んだりと友だちと楽しい時間を過ごしています。



特に、驚いたのが、1年生の縄跳びの上達です。交差跳びや二重跳びができるようになり、連続する回数も増えています。朝のジャンプアップタイムとして、毎日縄跳びを行っていますが、休み時間にも縄跳びをしている姿が多く見られます。続けることで着実に力が付き、できることが増えると楽しさにも繋がっていると感じます。

楽しいことを習慣にしていくために効果的なのは、「マイクロ・ゴール」の設定です。「マイクロ・ゴール」とはこれ以上ないぐらい小さな目標のことです。小さな目標を一つ一つ成功させていくことで、最後に大きな目標に到達することができますし、小さな成功体験を味わうことで、「習慣づくり」が進んでいきます。

たとえば、学習で「毎日1時間勉強する」という習慣を作るためには、まずは「1日1回、机にむかう」というマイクロ・ゴールを設定します。そして、「できるようになったこと」に着目して褒めてあげると、子どもの「自分にもできる、やれる」という自信につながります。小さなことでも、できるようになったという「変化」を見逃すことなく、タイムリーに褒めてあげることが大切です。

感染源を絶つために

石川県及び羽咋市において、新型コロナウイルスの感染が広がっていますので、保護者の皆さんには、改めて次の2点の徹底をお願いします。

- ① 発熱等の風邪の症状がある場合には、自宅で休養することを徹底します（レベル3及びレベル2の地域では、同居の家族に風邪症状が見られる場合も登校させないようにしてください）。
- ② 発熱等の風邪症状が見られる場合には、当該児童を安全に帰宅させ、症状がなくなるまでは自宅で休養するよう指導します。必要に応じて受診を進め、受診状況や検査状況を保護者から聞き取り、状況に応じた対応をします。

※文部科学省 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2021.4.28 Ver.6）より